

# 農林水産大臣賞（被害防止部門（個人））

現場で求められる機能を有する捕獲具・捕獲技術の開発・改良や、人材育成のため自ら塾を立ち上げ、県内外の各地域における総合的な被害対策のリーダー育成に尽力するなど、モデルとなる優良事例の育成として全国各地の鳥獣被害対策に貢献。

わだ みつお  
**和田 三生**

とすし  
佐賀県鳥栖市

## 主な取組

- 野生動物の習性や捕獲計画の策定、罠の設置、捕獲から解体までの捕獲技術を体系的に学べる「野生獣類捕獲技術研修センター（三生塾）」を平成24年に自ら立ち上げ、県内外の各地域における総合的な被害対策の旗振り役となるリーダー育成に貢献している。
- 選択した対象獣を確実に捕獲できる等、現場で求められる機能を有する捕獲具・捕獲技術の開発・改良により確実な捕獲による捕獲従事者の安全確保等を実現している。また、捕獲に当たっては、ハード（捕獲の失敗が少ない性能の高い捕獲機）とソフト（捕獲率の高い技術）を兼ね備えることの重要性を捕獲従事者や行政関係者等に指導している。
- 自ら捕獲し、計測・記録したイノシシの体長や体重、爪幅等の個体データを捕獲現場に還元し、加害個体の特定による捕獲や、成獣雌を優先した捕獲等、被害軽減のための効率的な捕獲指導を実現しているほか、収集したデータは捕獲技術の伝承のために活用している。
- 氏の指導により本表彰で表彰された地域も多く、モデルとなる優良事例の育成として全国各地に拡大している。

【被害状況（佐賀県）】

被害金額 約4.1億円（平成19年度） → 約1.9億円（令和2年度）

被害面積 約1,700ha（平成19年度） → 約190ha（令和2年度）